

令和3年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和3年12月27日

国際交流推進センター長 殿

下記のとおり報告します。

1. 国際研究集会名	2021年度第2回国際セミナー『科学と芸術の融合による、磁器の美しさ』		
2. 事業責任者 (申請者)	HAO DONG	3. 所属・職名	肥前セラミック研究センター・助教
4. 開催期間	令和3年12月8日～令和3年12月8日		
5. 参加者数 ※参加者名簿(様式任意)を添付	参加者数 <u>76</u> 名 うち、 <u>外国人</u> 数 <u>14</u> 名、 <u>学生</u> 数 <u>17</u> 名(修士課程以上)		
6. 支援金額	金額 <u>170,000</u> 円		
7. 招待講師	1. 所属 <u>景德鎮陶瓷大学</u> 2. 所属 <u>イタリアセラミック科学技術研究所(ISTEC, NRC)</u> 職名 <u>教授</u> 職名 <u>主席研究員</u> 氏名 <u>Jingjing Zhang</u> 氏名 <u>Michele Dondi</u>		
8. 謝金支出額	金額 <u>170,000</u> 円 講師1名@30,000円×2名=60,000円 同時通訳(株式会社イー・シー・インターナショナル)110,000円		
9. 国際研究集会の内容	<p>16:00-16:05 開会挨拶 矢田光徳・佐賀大学肥前セラミック研究センター長</p> <p>16:05-16:45 講演1 「磁器と炆器：近くて遠い存在。—焼結のダイナミックス、相転移および溶融」 ミケーレ ドンディ (Michele Dondi) イタリアセラミック科学技術研究所教授 司会：HAO DONG 佐賀大学肥前セラミック研究センター 助教</p> <p>16:45-17:25 講演2 「磁器と空間」 張婧婧 (Jingjing Zhang) 景德鎮陶瓷大学陶瓷美術学院 教授 司会：三木悦子 佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授</p> <p>17:25-17:30 閉会挨拶 赤津隆 佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授</p> <p>※ 講師講演30分、質疑応答10分</p>		
10. 特記すべき成果・波及効果	<p>肥前セラミック研究センター主催による2021年度第2回国際セミナー『科学と芸術の融合による、磁器の美しさ』を2021年12月8日にオンラインにて開催し、大学教職員、学生、肥前地域関連する機関、窯業技術者、KIGET、景德鎮陶瓷大学など、延べ76名が参加した。</p> <p>セラミックの発展のためには科学と芸術の融合が非常に重要です。本セミナーは、代表的なセラミック産地である中国の景德鎮、イタリアのファエンツァから2名の講師を招待いたします。景德鎮陶瓷大学のJingjing Zhang教授、イタリアセラミック科学技術研究所(ISTEC, CNR)のMichele Dondi教授による芸術とサイエンスの視点から伝統的磁器に関する研究についての講演が行われた。景德鎮陶瓷大学とイタリアのセラミックの研究を理解することは、参加者のためになります。</p> <p>このセミナーは肥前セラミック研究センターが本年度に開催した第2回国際セミナーであり、景德鎮陶瓷大学とイタリアとの国際交流活動によるものです。前回のセミナーより、英語だけの国際セミナーでは学部生と肥前地区からの参加者は大変なもので、今回の国際セミナーでは英日同時通訳を採用し、参加者をより多く集めました。この形式(英語日本語同時通訳)の国際セミナーは、肥前地域の陶磁器産業の発展と地域経済の活性化という目的を果たすことができました。また、日本、中国、韓国からの参加者に加え、アメリカからも芸術分野の研究者が参</p>		

加されていまして。国際セミナーを通して肥前セラミック研究センターの影響力を拡大し、国際的なセラミック研究組織の構築、推進していくことが重要だということが分かりました。

今後ますます、肥前セラミック研究センターは国際交流を深めてまいります。同時に、今年開催された国際セミナーをベースに、韓国窯業技術院や中国景德鎮陶瓷大学との大規模なシンポジウムの共同開催を試みる。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。